

令和3～4年度 下関市まちづくり協議会 活動事例集



はじめに

下関市では、平成26年9月に制定された「下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、市内全17地区でまちづくり協議会が設立され、それぞれの地区で、住民が主体となった特色あるまちづくりの取組みが展開されています。

この事例集では、令和3～4年度に、市内17地区まちづくり協議会で実施された活動の一部を紹介しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により地域活動が大幅に制限される中、現状を見据え、未来につながる取組みを模索する各地区まちづくり協議会の活動事例を、今後のまちづくり活動の継続や充実のためにお役立ていただければ幸いです。

【下関市まちづくり協議会】



目次

01 中東地区まちづくり協議会・・・P1~2

- CASE I SDGsな中東のまち~未来の暮らし体験~
- CASE II ペットボトルツリー点灯
- CASE III 「からと子ども食堂 縁」

02 西部地区まちづくり協議会・・・P3~4

- CASE I 地域食堂事業「Happiness食堂」
- CASE II 防犯対策講習会「うそ電話詐欺を知る」

03 向洋地区まちづくり協議会・・・P5~6

- CASE I 福岡市民防災センターで体験・
エコタウンセンターでの研修
- CASE II メタセコイア並木道の清掃除草活動
- CASE III 公共施設への門松贈呈

04 山の田地区まちづくり協議会・・・P7~8

- CASE I 資源ごみ回収事業
(地球温暖化対策プロジェクト部会)
- CASE II 「支えあい隊」活動事業
(支えあいサポートプロジェクト部会)

05 彦島地区まちづくり協議会・・・P9~10

- CASE I 地域交流事業「彦まちミニ駅伝大会」
- CASE II 安全快適まちづくり事業「救急救命講習会」
- CASE III 地域活性化事業(彦島歴史文化の会)
「日本遺産フェスティバル」出展

06 長府地区まちづくり協議会・・・P11~12

- CASE I タウンコンサート in 長府 -教育部会-
- CASE II 長府の寺子屋 -教育部会-

07 長府東部地区まちづくり協議会・・・P13

- 走り方教室・イルミネーション・防災訓練・
ふるさと祭り・認知症フェアin長府東部2023

08 安岡地区まちづくり協議会・・・P14

- ピカピカウォーク

09 東部5地区まちづくり協議会・・・P15~16

- CASE I 王司地区映画鑑賞会
- CASE II 東部5地区グラウンド・ゴルフ選手権大会

10 勝山地区まちづくり協議会・・・P17~18

- CASE I 体験交流農園「井田の里」の開設、運営支援
- CASE II 知ってほしい・視覚障害のこと

11 内日地区まちづくり協議会・・・P19~20

- CASE I 地域行事の復活『どんど焼き』
- CASE II 高齢者の健康増進事業
『懐かしの歌をうたう会』
- CASE III 鯉のぼりの掲示

12 川中地区まちづくり協議会・・・P21~22

- CASE I 綾羅木川河川敷環境整備
(綾羅木川堤防南側川表法面に紫陽花を植栽)
- CASE II Candle Night 2023
in 下関市立考古博物館

13 吉見地区まちづくり協議会・・・P23~24

- CASE I 「恐竜エコアート」
(令和3年度 毘沙ノ鼻関連事業)
- CASE II 「浴衣着付け教室・盆踊り教室」
(令和4年度 教育活動事業)
- CASE III 「第1回吉見温泉センター古本まつり」
(令和4年度 イベント企画事業)

14 菊川地区まちづくり協議会・・・P25~26

- CASE I 地域体験教室(菊川で学び、活躍する日)
- CASE II 菊川町賑わい事業
(夏まつり花火大会ステージ、提灯タワー)
- CASE III 高齢者見守り事業
(おれんじ文化祭認知症ミニフェスティバルin豊東)

15 豊田地区まちづくり協議会・・・P27~28

- CASE I 豊田発シモノセキラキラプロジェクトへの参加
- CASE II 長門ポッポSL里帰り事業
- CASE III 第1回まち中花いっぱいフォトコンテスト

16 豊浦地区まちづくり協議会・・・P29~30

- CASE I とよステ(とようらみんなのステージ)
- CASE II 行政との懇談会・要望書の提出

17 豊北地区まちづくり協議会・・・P31~32

- CASE I 成人式プロジェクト
- CASE II 専修寺マルシェ
- CASE III 豊北中学校駐車場白線再生

中東地区

まちづくり協議会

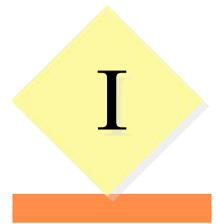
■ 事務所
〒750-0005
下関市唐戸町4番1号
カトピア5階
☎/ 備：083-250-8380

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口：21,579人
世帯数：12,100世帯
中学校区：日新、名陵中学校
面積：7.77km²

■ H P : <http://chuto-machikyo.net/>
■ MAIL : jimukyoku@chuto-machikyo.net



下関市役所前市民広場にて



SDGsな中東のまち

未来の暮らし体験

経緯・きっかけ

SDGs (持続可能な開発目標) は、国連で採択された2030年までに目指すべき国際目標です。目標達成のために、日本国内においても様々な法改正が行われ、私たちの生活にも変化が見え始めています。

中東地区まちづくり協議会において、SDGs について学習会を1年間重ね、今後のまちづくり、地域づくりにはSDGs が欠かせないことを学びました。そして、私たちが学んできたことを地域住民の方にも広く知っていただき、持続可能な安全、安心なまちづくりを住民みんなで作り上げるために、このイベントを企画しました。

「未来(子や孫)のために、みんなでつなぐ、幸せな暮らしのための17の目標」を少しでも感じていただき、自分ができることを考えるきっかけになれば、このイベントは成功だと考えています。

活動内容

◆開催日：令和4年11月26日(土) 10時～16時

◆場所：下関市役所前市民広場

◆参加者：約1000名

◆内容：

◎スタンプリィ(令和4年11月1日～25日まで)

11月26日本部にて回収。暑気交換は100名に！

◎パネル展(会場テント内にて)

「文関小学校：実践発表」 「中国電力：SDGsの取組み」 「防災危機管理課：防災について」 「中東地区まちづくり協議会：SDGsの概要」をパネル展示

◎ステージイベント

開会式、学習発表(名陵小学校・養治小学校)、ブラスバンド演奏(日新中学校)、校歌(手話)、童謡(長廣めいこ)、ライヤー演奏(田中教江)、ライブ(マウンテンマウスまあい)、シンガー(牟田裕、平家太鼓(赤間空)、ごみ関連・防災についての講演 etc

◎リユースマーケット・献血(下関西ライオンズクラブ共催)

◎健康チェック(東部地区保健推進員)

成果・課題・展望



スタンプリィは「唐戸周辺をゆっくりと家族と歩くことがなかったのが楽しかった」「知らない店を知ってよかった」「地図が無かったので、探すのが楽しかった」など、好評でした。パネル展においては、個別に熱心に見ていた方や防災危機管理課・中国電力の人に聞いていた方も。リユースマーケットは完売に！献血には200人が参加されました。ステージイベントにいられた500人の方にも、意識付けはできたと思います。



今後は、SDGs目標を個人でどう付き合っていくか、具体的に示していきたいと考えています。

II

ペットボトルツリー点灯

経緯・きっかけ

平成30年度の「地域力アップ事業」に、北浦街道のまち興し事業として応募し、認定されたことがこの事業のきっかけとなりました。

活動内容

ほっとする街づくりの一環で、使用済みペットボトルの再利用として始めましたが、令和4年度で5回目となりました。

◆点灯場所：常盤公園（幸町勤労福祉会館横）

◆点灯期間：令和4年12月1日～

令和5年2月28日

◆高さ3m×1基、2m×1基、関門橋

クジラを設置しました。

◆事前準備 運搬

設置 撤去に際し

ては多くのサポーターの支援がありました。次第に認知され、冬季の風物として定着しつつあります。



点灯中の様子



成果・課題・展望

関係しているサポーターが次第に高齢化してきていると共に、資材の保管場所に腐心している状況です。今後は、できれば常盤公園のみではなく、条件の整う他の公有地にも設置できればと期待しています。

III

「からと子ども食堂縁」

経緯・きっかけ

子どもから高齢者まで、地域住民の多世代交流が出来る楽しい居場所を作るため、令和3年3月に立ち上げ、11月にオープンしました。

活動内容

◆食堂開催日：毎月第2木曜日

16時～18時

◆参加人数：平均約55名（スタッフ含）

食事提供時間は17時としました。

それまでは自由時間で、ゲームや宿題をしたりしています。

スタッフの登録人数は約20名で、

食堂開催日とは別に「スタッフ会議」

を毎月第4水曜日に開催し、より美味い食事を提供出来るよう話し合い

をしています。



成果・課題・展望

スタートしてから回数を重ねるごとに、子どもたちも徐々に慣れてきて、参加者全員、大変楽しみにしてくれています。

今後は、食事提供だけでなく、学習支援も行っていきたいと考えています。

POINT

コロナ禍の中、マスク着用・手指の消毒・検温・換気・黙食等、基本的な対策はもちろん、テーブルも家族単位とし、感染防止対策をしてきました。コロナウイルスに振り回されることなく、子どもたちがもっと自由に伸びのびと過ごすことが出来るようになって欲しいと願っています。

向洋地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒750-0047
下関市向山町14番1号
向山小学校内
☎/ 備：083-250-7333

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人 口：8,918人
世 帯 数：5,079世帯
中学校区：向洋中学校
面 積：1.92km²

■ H P : <https://kouyou-machikyo.jimdofree.com/>
■ MAIL : koyochikumachidukuri@helen.ocn.ne.jp



メタセコイア並木道の清掃除草活動

I

福岡市民防災センターで体験・ エコタウンセンターでの研修

経緯・きっかけ

高齢化が進み、独居家庭が多くなっているという地域の実態がある中、地震・風水害・火災などが発生した際、どのような対応をしなければならぬのかを防災センターで体験するとともに、エコタウンセンターにて研修を実施することになりました。



成果・課題・展望

参加者からは、視察体験をしたことで、災害が起きた時の行動・対応を考えさせられたとの声が上がりました。
また、まちづくり協議会として、防災等今後の活動に対しての課題を多く見つけることができました。

活 動 内 容

◆実施日：令和4年3月26日（土）

◆参加者：20名

◆場 所：福岡市民防災センター・北九州市エコタウンセンター

コロナ禍において人数が制限された活動ではありましたが、福岡市民防災センターにおいて、地域ではできない地震発生装置での地震体験や水圧による車のドア開など貴重な体験をすることができました。

また、北九州市エコタウンセンターにおいては、電力不足がささやかれている夏に向けての対策や、大気汚染を削減する風力発電の仕組みを学ぶと共に、設置されている現場にて、羽根の大きさやコンピューター制御での風の向きによる羽根の動きについて説明がありました。



福岡市民防災センター前にて

II

メタセコイア並木道の 清掃除草活動

経緯・きっかけ

令和4年4月に、下関市立市民病院の入口に「旧下関球場跡」、下関市立向洋中学校正門入口に「メタセコイア並木道」の案内看板を設置したことをきっかけに、美しい景観を保ちたいとの思いつきから清掃除草活動を始めました。

活動内容

◆令和4年7月9日(土)

小・中学校生徒と地域のボランティアなど60名で、向洋中学校側の歩道に植えているメタセコイアの根元付近・歩道・車道側の除草取りと落ち葉の回収を行いました。

◆令和4年10月1日(土)

建設現場の人たちにもお手伝いを頂き、70名で前回同様に清掃除草活動を実施しました。

下関市総合体育館建設に伴い、地域のイベント中は、向洋中学校グラウンドが駐車場として使用されることにより人の往来が多くなるのではとの考えから、中学校側と体育館建設中側の歩道の両方をきれいにしました。



成果・課題・展望

綺麗になった歩道を見ながら、この景観を保つためには、地域の方にも呼びかけ、定期的に清掃活動を続けていく必要があると感じました。

POINT

マスクなどの感染症対策や、水分補給・休憩等の熱中症対策の上、車や歩行者に注意しながら事故が無いように活動しました。

III

公共施設への 門松贈呈

経緯・きっかけ

平成28年に、向洋町の中原自治会長さんが向洋中学校の生徒たちと一緒に門松を作り、玄関に飾ったことがきっかけとなりました。翌年から文化の継承として、小・中学校に声をかけボランティアを募り、まちづくり協議会主催で門松作りを取り組み、公共施設へ贈呈しています。

活動内容

◆令和4年12月24日(土) 9時〜12時

◆参加者: 70名

◆場所: 向洋小学校体育館

館内を9ブロックに分け、1ブロック7〜8名で贈呈する門松を作りました。



門松づくり

成果・課題・展望

年末の忙しい中でしたが、小学校・地域のボランティアの方を始め、今年初参加の梅光学院大学生などとの交流ができて大変盛り上がりしました。

まちづくりのメンバーが高齢化する中、大学生が優しく子どもたちと交流する姿を見て、今後の活動については、PTA・大学生等との交流を深め、若い人たちへ継承していくことが大切だと感じました。

各まちづくり協議会の活動紹介としてJ・COMの取材も。後日放送を観て、皆が助け合って製作していたのがよく分かりました。

教育センター・こども園
下関市体育館・下関市立市民病院
向洋小学校・向洋中学校
下関市民センター・たちはな会
向洋児童クラブに贈呈しました！

山の田 地区 まちづくり協議会

■ 事務所
〒751-0834
下関市山の田東町4番13号
北部公民館内
☎：083-250-7955
☎：083-250-7965

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口：17,869人
世帯数：9,383世帯
中学校区：山の田中学校
面積：3.77km²

■ H P : <https://yamanota-machikyo.com>
■ MAIL : yamanotamachizukuri@road.ocn.ne.jp



山の田交差点周辺早朝清掃活動 (月2回定期的継続実施)

I 資源ごみ回収事業 (地球温暖化対策プロジェクト部会)

経緯・きっかけ

近年の異常気象は地球温暖化によるものと考えられており、その解決策としてCO₂削減が叫ばれています。

CO₂削減に貢献できる身近な活動であるごみの減量に取組むことで、次のようなメリットがあるとして、本事業を実施することになりました。

- ・古紙や段ボールをリサイクルすることで、温室効果ガスの発生抑制につながる。
- ・再資源化することにより、資源ごみを有効活用できる。
- ・市がごみ処理に要する費用は、1トン当たり約4万円。市に代わってまちづくり協議会がごみを回収し、リサイクルすることで、市のごみ処理費用削減に貢献できる。
- ・回収重量に応じた市からの奨励金を受け、関係団体に還元できる。

活動内容

本市では、各家庭の資源ごみは毎週月曜日から金曜日に出され、市のクリーン推進課が回収しています。本事業では、市が回収を行わない毎週干曜日、各家庭から一般ごみと同じゴミステーションに資源ごみを出してもらい、山の田地区まちづくり協議会がこれを指定業者に回収計量させた上で、市に申請して回収重量

に応じた奨励金を受け取っています。

なお、本事業は、管内の16自治会との共同実施です (令和5年9月末現在)。

【令和4年度実績】

- ・資源ごみ回収量：113トン
- ・市から受けた奨励金：45万3千320円 (配分割合：自治会70%、小中学校15%、まちづくり協議会15%)
- ・市のごみ処理費用削減効果：452万円

成果・課題・展望

【成果】 奨励金を関係団体へ還元しました。まちづくり協議会としても収益の15%を自主財源として受け取りました。

【課題】 令和元年度の事業開始以来、参加自治会数は年々増えていますが、現在管内の33自治会中16自治会です。不参加自治会に対し、これまで参加を促してきたところですが、なかなか理解を得

られないこともある状況です。今後も引き続き説明を続け、参加自治会数を増やしていくことが課題です。

【今後の展望】 管内の自治会だけでなく、他地区まちづくり協議会にも参加を促し、本市の資源ごみの有効活用、ひいては地球温暖化防止に貢献していきたいと考えています。

II

「支えあい隊」活動事業 (支えあいサポータープロジェクトプロジェクト部会)

経緯・きっかけ

新型コロナウイルス感染症の爆発的な流行を前に、令和3年6月、電話による高齢者の第1回目のワクチン接種予約受付が始まりました。しかし、当初は電話が全くつながらず、予約ができないという状態でした。

そうした状況を見かねた山の田地区まちづくり協議会の有志6名が、高齢者に代わって電話予約を始めたのが本事業立ち上げのきっかけです。

結果として、400名近い高齢者の代行予約を行うことが出来ました。

現在は、「支えあい隊」活動のほか、高齢者向けのスマホ教室も行っています。

活動内容

◆「支えあい隊」活動

独り暮らしの高齢者や障がいを持つ方などのちょっとした困りごとを、地域のチカラでサポートすることを目的として、「支えあい隊」隊員による有償ボランティア活動を実施。

地域でちょっとしたサポートを必要としている高齢者や障がいのある方と、サポートできる人を結び、支えあい新たな取組みであり、「支えあい隊」隊員については随時、募集しています。また、必要な方が気軽に利用できるよう幅広い周知にも努めています。

【有償ボランティアサポートの一例】

- ・ごみ出し、電球交換、安全確認(100円/1回)
- ・買い物、室内掃除(100円/30分)
- ・草取り(500円/1時間)等々

【令和4年度実績】計431件

- ・ごみ出し: 395件
- ・草刈り: 9件
- ・掃除: 6件
- ・電球交換: 3件
- ・軽作業: 4件
- 他

◆高齢者向けスマホ教室の開催

スマホを持つてはいるが、使えない・文字が打てない高齢者を対象に実施。基本的な使い方をはじめ、安全対策や写真、LINE、地図アプリなど、使いこなせるようになるまで研修を行っています。

【令和4年度実績】9回実施 延べ154名参加



「支えあい隊」隊員



有償ボランティア活動

成果・課題・展望

地域の高齢者が困っている姿を見て自分たちでできる範囲で支援をしていきたいという小さな思いから始まった事業ですが、他のまちづくり協議会から、活動内容や実施方法等について問い合わせや説明依頼を受けるようになりました。

彦島地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒750-0075
下関市彦島江の浦町1丁目
3番1号 彦島公民館内
☎ : 083-250-9117
☎ : 083-250-9118

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口 : 23,429人
世帯数 : 12,214世帯
中学校区 : 彦島、玄洋中学校
面積 : 11.26km²

■ H P : <http://www.hikoshima.jp/>
■ MAIL : hikomachi@hikoshima.jp



彦まちミニ駅伝大会のポスターとその模様



地域交流事業「彦まちミニ駅伝大会」

経緯・きっかけ

コロナ禍のため、全員が集まったの地域交流がなかなか実施できず、活動を自粛していました。

しかし、そういった状況の中、外でのイベントということで5つの自治連合会が取組んでいたスポーツ大会を再興し、さらなる活性化を目標に「第1回彦まちミニ駅伝」を実施することになりました。

活動内容

「つなごう！彦島のきずな」をテーマに、彦島全体で「第1回彦まちミニ駅伝」を開催！

◆開催日：令和4年12月3日(土)

◆場所：ひこつとらんどマリナービーチ (西山海水浴場)

◆約500名が参加！

彦島の5つの小学校校区(チーム/各校区) 対抗で、小学生低学年男女、小学生中学年男女、小学生高学年男女、中学生男女シニア、一般人、先生、高校生毎の編成で10チームが13区間でタスキをつなぎました。(選手総勢130名)

彦島地区の4つの平家踊り保存会、中等教育学校のダンス部地域の皆様の応援で大会が大盛り上がりでした。



下関中等教育学校ダンス部の応援！



選手宣誓！



彦まちミニ駅伝大会

成果・課題・展望

小学生選手の選出では、児童数が減少していることもあって苦勞がありました。日程も、テスト週間や他行事があるため、調整が難しく、今後の課題となりました。

また環境整備事業と合同でまちづくり協議会のメンバーだけでなく、公募にて広く参加者を募り、集まっていたいた住民の方々と各自治会、団体、そして地元企業の参加もあり70名を超えるメンバーで草刈りや走路の石ころを拾ったり、選手がけがをしないように、走路整備を行いました。

苦勞や今後の課題もありましたが、彦島地区内の自治会、学校及び企業の協力もあり、彦島全体が一枚岩になってこの大会を開催することができました。



環境整備活動

POINT

～支えあって
元気な地域づくり～
住民の皆さんと共に活動するイベント等を企画し、元気なまちづくりを目指します！

II

安全快適まちづくり事業 「救急救命講習会」

経緯・きっかけ

安全快適まちづくり事業では、これまでAED設置施設一覧表の作成・配布や、ホームページでの防災情報の提供を行ってきたしており、今回はいざというときに役に立つ『救急救命講習会』の開催を実施することにしました。

活動内容

自治会単位では『彦まち移動カフェ』と共催で開催し、若い世代にも経験して欲しいとの思いから、玄洋中学校、彦島中学校と相談をして、中学校でも開催しました。

◆『彦まち移動カフェ』共催 弟子待町での開催では約40名参加。AEDの使い方と心肺蘇生法の講習を実施しました。その後、向井町と江の浦町でも開催しました。

◆玄洋中学校 2年生40名、まち協10名参加
生徒たちは明るくかつ真剣に取り組んでいました。

◆彦島中学校 2年生130名、まち協7名
で各班にまち協メンバーが入り、指導も実施
テレビや新聞の取材も入り、取組みを紹介
していただきました。



彦島中学校での救急救命講習会

成果・課題・展望

初めて学校で実施しましたが、大変好評で「来年もぜひ開催して欲しい」とのお声掛けがあり、来年度は下関中等教育学校、玄洋中学校、彦島中学校で実施予定です。

若い世代とともに活動する方法として学校での開催を実施しました。学校との協力体制も十分にできて、次につながる良いきっかけになるのではと思います。

III

地域活性化事業 （彦島歴史文化の会） 「日本遺産フェスティバル」出展

経緯・きっかけ

彦島の歴史・文化遺産を青少年や地域住民に伝える活動を進めています。令和4年には10月29日・30日に、「日本遺産フェスティバル(海峡メッセ開催)」に出展しました。

活動内容

日本遺産フェスティバルには中東・西部・長府地区とともに協同で出展し、彦島地区は彦島の近代化・歴史遺産などの写真展示やパンフレットを配布しました。日本遺産は、日本各地の伝統や文化を国内外に発信するために、文化庁が認定しているものです。関門海峡を巡る遺産は、下関市に17遺産あるうちの4遺産が彦島にあります。

成果・課題・展望

全国からの来場者に、彦島の魅力を発信出来ました。また、青少年が彦島を好きになり、この町に住み続けてくれることにつながっていきたいと思います。



長府地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒752-0966
下関市亀の甲二丁目2番1号
豊浦小学校内
☎/ 備：083-250-7450

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口：16,182人
世帯数：7,950世帯
中学校区：長府中学校
面積：10.33km²

■ H P : <https://www.chofu-machikyo.com/>
■ MAIL : chofu-machikyo115@circus.ocn.ne.jp



♪ タウンコンサートin長府 ♪

I

タウンコンサートin長府 | 教育委員会 |

経緯・きっかけ

長府中学校区は一小一中ということもあり、小学校の金管クラブと、中学校の吹奏楽部の合同演奏会を毎年行っています。演奏会の当日は、朝からプロの方の指導を受け、その後、演奏会が行われます。

金管クラブの児童は、中学校では吹奏楽部に在籍する生徒が多いため、令和4年度は、**中学生が小学生を指導する交流会と演奏会**を行いました。

活動内容

小学生と中学生の交流会&演奏会！

◆開催日時：令和5年3月4日(土)

○交流会8時30分～ ○演奏会10時30分～

◆開催場所：豊浦小学校 体育館

◆交流会参加人数：

○豊浦小学校金管クラブ 70名

○長府中学校吹奏楽部 50名

◆演奏会入場者：150名



演奏会が始まる前



中学生が小学生を指導する交流会

成果・課題・展望

交流会ではパートごとに分かれ、小学生は、顔なじみの中学生から楽器のことや演奏のことを教えてもらいました。親しみがあって、聞きやすかったです。

また、会場設営にあたっては、学校の先生方や保護者の方のサポートがあり、大変心強かったです。ありがとうございました。

POINT

コロナ禍における活動では、マスク着用・手指消毒・体温確認・換気等に気を付けた上で、実施しました。

また、イベントや行事のお知らせを、チラシやホームページに掲載し、広く周知しています。

II

長府の寺子屋

「教育部会」

経緯・きっかけ

「長府の寺子屋」は、小中学校の先生方の「地域還元をしたい」という思いから始まった生涯学習講座です。

その後、高校にコミュニティースクールが設置され、その取組みの一環として、たくさんの講座が開催されています。

地域の方や地域のものづくり団体の方にも講師をしていただくなど、講座開催にあたっては、たくさんの協力を得ながら実施しています。



講座「中学生の食生活と栄養」



講座「横山眞佐子さんと子どもの本をトコトン楽しむ」

活動内容

- ◆ 開催日：令和4年11月30日
 - ◆ 講師：横山眞佐子
 - ◆ 場 所：長府公民館
 - ◆ 参加者：19名
- 【横山眞佐子さんと子どもの本をトコトン楽しむ】
- ◆ 開催日：令和4年12月6日
 - ◆ 講師：長府中栄養教諭
 - ◆ 場 所：長府中学校
 - ◆ 参加者：10名
- 【中学生の食生活と栄養】
- ◆ 開催日：令和4年12月10日
 - ◆ 講師：長府高校化学教諭
 - ◆ 場 所：長府高校
 - ◆ 参加者：10名
- 【酸化還元反応で色の変化】

- ◆ 開催日：令和4年12月10日
 - ◆ 講師：長府高校社会科教諭
 - ◆ 場 所：長府高校
 - ◆ 参加者：5名
- 【現代の課題と倫理 ～生命倫理について考えよう～】
- ◆ 開催日：令和5年1月7日
 - ◆ 講師：豊浦小学校校長
 - ◆ 場 所：豊浦小学校
 - ◆ 参加者：15名
- 【ふるさと下関カルタ大会】

冬休みに開催の「長府の寺子屋」冬休みスポーツ講座とは趣が異なり、小学生から大人まで参加できる講座のため、参加者は「長府の寺子屋」を楽しみにされているようです。

横山先生の絵本の講座は、絵本作家の横顔や絵本ができるまでの経緯など楽しい情報が盛りだくさんな講座です。

乳幼児同伴も可能にし、プレイマットも準備しています。

令和4年度はものづくり団体との日程がかなわず残念でしたが、次回は参加をしていただきたいと思います。

小学生から大人まで興味のある講座に参加されました！

成果・課題・展望



認知症フェアの会場

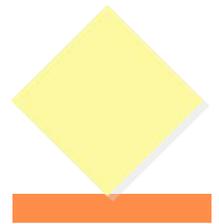
長府東部 地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒752-0932
下関市長府松小田北町14番1号
長府小学校内
☎/ 備 : 083-250-8980

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人 口 : 11,385人
世 帯 数 : 5,903世帯
中学校区 : 長成中学校
面 積 : 7.29km²

■ H P : <https://chofutoubu-machikyo.jimdo.com/>
■ MAIL : machikyo-chofutoubu@aioros.ocn.ne.jp



走り方教室・イルミネーション 防災訓練・ふるさと祭り 認知症フェア 長府東部2023

経緯・きっかけ

地域の子育て支援・世代交流・幼保小中の連携の課題解決に向けた支援活動の一環として、まちづくり協議会の活動が大人だけでなく、小学生・中学生・高校生が中心となって活動できるものにしよつとして各活動を計画し、実施することにしました。

活動内容

【走り方教室】 令和4年5月実施 (参加者40名)
【イルミネーション】 11月〜2月まで点灯 (参加者20名)

長府東公民館の周りに少しずつ明るさが増し、長府東部のまちが華やかになっています。

○イルミネーションでの特別講演♪

シンガー牟田裕さんによるミニクリスマスコンサートを実施しました。

【防災訓練】 令和5年2月実施 (参加者50名)

【ふるさと祭り】 令和4年7月実施 (参加者多数) 中学生が中心となって実施！

【認知症フェア】 令和5年3月12日実施 長府東公民館講堂にて (参加者80名)

〜認知症について理解を深め、認知症にやさしいまちを目指して〜

○認知症サポーター養成講座

○ギター演奏

○合唱団による歌唱



自主防災教室



イルミネーション



成果・課題・展望

回覧などにより、活動への参加人数が多くなりました。
参加希望者も多くなり、地域活性化につながっています。

POINT

毎年度活動範囲を拡大しており、小学生・中学生・高校生・若い方の間に、活動が広く知れ渡っていくよう計画しています。

安岡地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒759-6612
下関市安岡駅前二丁目7番1号
安岡公民館内
☎/ 備：083-250-8110

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口：14,248人
世帯数：7,015世帯
中学校区：安岡中学校
面積：16.40km²

■ H P : <http://yasuoka-kataroute.jimdofree.com/>
■ MAIL : sukizaki583@vega.ocn.ne.jp



ピカピカウォーク

ピカピカウォーク

経緯・きっかけ

まちづくり協議会のメンバー数名でリヤカーを引っ張って町内のごみ拾いをしてみよつというところで、6年前の平成29年から、毎週日曜日の早朝に集まって始めたごみ拾い清掃活動です。まち協の旗をリヤカーに掲げて、町内を回りました。始めた当時は歩道周辺に結構な数のごみが落ちていました。

活動内容

- ◆開催日時：毎月第一・第三日曜 午前7時から1時間～1時間半程度
- ◆参加人数：3～8人
- ◆内容：みんなで「ピカピカウォーク」ごみ拾い清掃活動
～安岡のまちをみんなできれいにしませんか？～

当事業を始めた頃は、ごみ袋(大)で3～4袋集めていました。年月が経つにつれて、ごみの量は減少し、現在では半袋くらいになっています。これは町民の皆さんが自宅周辺の清掃をしてくださっているからだ、この事業の大きな成果を感じています。海峽ウォークでもリヤカーを引いて完走！また、1人で福江方面や梶栗方面へも出張しました。ごみ拾いと同時に、**周辺の草取りも定期的に行っています。**

YouTubeにて
ピカピカウォークの様子が
ご覧いただけます！👉

https://www.youtube.com/channel/UCHRUpfpxN7m_QTc_RSObpw

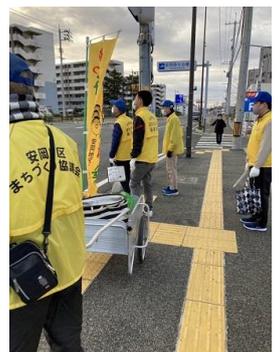
POINT

まちづくりの行事では、参加者が多いこと=成功と思われがちです。

しかし、たった2～3名の参加者でも大切にコソコソ活動することは、今の時代の持続可能な活動として、もっと見直されるべきではないかと思っています。

課題としては、メンバーに新規加入者がいないことです。現在は4名で行っています。
今後の展望としては、新規のメンバー募集のために、月一回広く参加者を募って、みんなでピカピカウォークを実施し、メンバー増加を目指します。
少ない人数でコソコソ続いてきたのは、メンバーの努力と信念である「ごみを拾うことは運を拾うことになる」という思いからだと感じています。

成果・課題・展望



まち協の旗を掲げながら

東部5地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒750-1142
下関市小月本町一丁目7番7号
小月公民館内
☎/ 備 : 083-250-7330

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人 口 : 25,485人
世 帯 数 : 12,148世帯
中学校区 : 東部、木屋川中学校
面 積 : 73.39km²

■ H P : <https://toubu5-machikyo.jimdofree.com/>
■ MAIL : toubu5k@wind.ocn.ne.jp



王司地区映画観賞会の会場

I

王司地区映画鑑賞会

経緯・きっかけ

王司地区住民を対象とした「映画鑑賞会」を開催してはどうかという話が持ち上がり、令和3年12月より健康福祉部会の活動として認知症に関する映画「ばあばはだいじょうぶ」を手始めに上映いたしました。王司地区での開催のため、王司地区団体（自治会・老人クラブ・ふるさと協育ネット・民生委員・福祉員）の方々と打ち合わせを数回重ねました。

活 動 内 容

◆令和4年4月19日（火） 映画鑑賞会説明会

○目的・趣旨 ○開催予定日 ○上映作品・時間 ○上映費用 ○今後の進め方

◆令和4年6月8日（水） 映画鑑賞会上映のお知らせ内容の検討会

（王司地区住民用・王司小学校保護者用並重畳）

◆令和4年7月30日（土） 前日準備及び当日会場受付等打ち合わせ会議

○7月30日現在「映画鑑賞会」申し込み状況 ○前日準備 ○当日駐車場への誘導

第1回目〜第3回目の人員配置、受付、検温、上映終了後の椅子消毒

◆令和4年8月21日（日） 王司公民館にて3回上映（10時・13時30分・18時）

○約280名の町民が参加しました。



映写の担当



上映中の「ばあばはだいじょうぶ」

成果・課題・展望

「大変よかった」「涙が出た」「これからも開催してほしい」「今後開催されたらボランティアでお手伝いしたい」といった声を頂きました。

今後は、費用負担についての検討や、東部5地区まちづくり協議会のうち、清末・小月・王喜・吉田地区での映画鑑賞会をどのように扱っていくのかを考えていく予定です。

東部5地区

王司・清末・小月
王喜・吉田5地区
によるまちづくり協議会です。

II

東部5地区グラウンド・ゴルフ選手権大会

真剣勝負の競技中

経緯・きっかけ

下関市東部地区の核となる施設、乃木浜総合公園グラウンド・ゴルフ場にて、「東部5地区グラウンド・ゴルフ選手権大会」を開催！選手権大会を開催することで、素晴らしい地域の施設を広く知ってもらうことができ、真剣勝負による本当の交流や親睦が生まれることを目指して企画しました。また、第一回選手権大会を開催すれば、これから先、第二、第十回大会へとつながっていくのではないかと、将来は下関、山口選手権大会にしていけるのではないかとという夢もあります。

そういった思いで、東部5地区まちづくり協議会、5地区自治連合会、スポーツ振興会大会などが力を結集し、開催につなげました。



開会式



選手宣誓！

活動内容



成果・課題・展望

東部5地区グラウンド・ゴルフ選手権大会を開催！

◆開催日：令和4年10月30日（日）

◆場所：乃木浜総合公園グラウンド・ゴルフ場

◆参加者：王司・清末・小月・王喜・吉田の5地区より、

16チーム100名が参加！

天候にも恵まれて気持ちよくプレーをすることができ、互いに親睦を図ることができました。

東部5地区全体から集まった100名の選手たちが、真剣勝負で親睦を深めました。

今後、この事業は、一つのモデル事業になるのではないかと期待しています。

勝山区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒751-0872
下関市秋根南町二丁目4番33号
勝山公民館内
☎/ 備：083-250-7522

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人 口：24,991人
世 帯 数：12,624世帯
中学校区：勝山中学校
面 積：21.94km²

■ H P : <https://katsuyamachikuinfo.wixsite.com/katsuyama>
■ MAIL : katsumachi@theia.ocn.ne.jp



農園ゾーンへの堆肥散布



I 体験交流農園「井田の里」の開設、運営支援

経緯・きっかけ

勝山北部にある井田地区の休耕田を活用した、市街地に住む人たちも休日レジャーとして家庭菜園を楽しみ、人と人とのふれあい交流を図る「市民農園」。その開設と運営を支援することにより、人のつながりを大切にした活力ある地域を目指して本事業を展開してきました。

新型コロナウイルス感染拡大のため開園が遅れていましたが、令和4年度は感染諸対策が定着してきたこともあり、9月からのテスト開園（1次募集）、3月からの2次開園と、順調に事業を進めることができました。

活動内容

【農園ゾーン】

○提供区画 / 1区画 7.6m x 3.1m

令和4年度は5月に1次募集（20区画 / 契約17区画）、11月に2次募集（25区画 / 契約10区画）を実施。延べ6回の利用者説明会・区画整備を行い、令和5年3月現在

25区画で野菜作りを楽しんで頂いています。

【体験交流ゾーン】

野菜作り指導の体験学習プログラムに沿って、野菜の作付けから収穫までの指導を令和

5年3月より展開しています。

農園ゾーンと体験交流ゾーンに分けて活動を展開しました！



体験交流ゾーンの収穫祭



体験交流農園「井田の里」全景

成果・課題・展望

休耕田有効利用の促進と、農業体験学習プログラムの展開により、利用者の農業への理解が深まりました。また、里山・里地の身近な自然に親しみながら、市街地と農耕地の交流も図ることができました。現時点で農園ゾーンは25区画の利用となつていますが、今後利用者からの要望があれば、最大40区画までの対応を考えています。

さらに、体験交流ゾーンにおける収穫祭（ふれあい交流イベント）も計画しています。

課題としては、高齢化により農園全体の維持・管理作業の人材確保が厳しくなっているので、追加の応援隊を募集していきたいと考えています。



II

知ってほしい・視覚障害のこと

経緯・きっかけ

「体験しよう福祉のきもち」と題し、令和2年度には、参加者が車いすに乗る係と車いすを押す係となり、途中で係を交代しながら実際に車いすを使用し、勝山支所から新下関駅周辺を巡回するという体験をしました。令和3年度は令和2年度の活動を受けて、さまざまな障害を知ることによってみんなが優しい気持ちを持てるようになって欲しいという思いを込めて、視覚障害者の方をお招きして講演会を行いました。

講演の後、視覚障害者の方とともに、勝山支所から新下関駅周辺を白杖をもちいて通行体験をし、通行困難箇所等の調査を行いました。

活動内容



盲導犬についての講演



白杖を用いての歩行
マンホールの蓋が点字ブロックにかかっていました

- ◆開催日：令和3年11月28日（日） 13時～16時40分
- ◆参加者：80名 ◆会場：勝山公民館3階 音楽ホール
- ◆内容：

- 山口県立下関南総合支援学校岡崎校長、中村教諭による講話
- 盲導犬利用者岡藤さんのお話と、盲導犬を連れての会場内歩行
- 参加者全員が交代で白杖を使用しながら勝山公民館から新下関駅までの歩道の点字ブロックの状況、障害物等の調査

成果・課題・展望

点字ブロックの整備不足（点字ブロックがない、マンホールの蓋で点字ブロックが途切れている）等視覚障害者の方にとって危険な場所がたくさんあることがわかりました。また、盲導犬との接し方（触らない、声を掛けない、えさを与えない、見つめない等）を知ることが出来ました。

今回の講演は、まず私たちが自分の心のバリアを取除くことが一番大切であると気付かせてくれたように思います。

POINT

多くの方に参加していただきたかったのですが、コロナ感染防止の観点から自治会、勝山地区民生委員、健康福祉部の部会員とその家族の有志の方のみとしました。

マスク着用、体温測定、手指消毒を基本とし、椅子の間隔を広げて配置しました。

今後は、チラシ・ポスター等で事業の周知を図り、多くの方の参加を得たいと考えています。

内日地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒750-0253
下関市大字内日下1146番地5
内日公民館内
☎ : 090-9067-7944

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人 口 : 1,077人
世 帯 数 : 535世帯
中学校区 : 内日中学校
面 積 : 29.64km²

■ H P : <https://utsui-machikyo.jimdo.com>
■ MAIL : utsuimk01@helen.ocn.ne.jp



令和4年度やぐら点火

I

地域行事の復活『どんど焼き』

経緯・きっかけ

長引くコロナ禍により、地域の人々が集う機会や恒例行事が減少し、人と人がふれあうことが少なくなりました。
また、少子高齢化も進み、若い世代に伝えていきたい地域の伝統行事が続けていくことが年々難しくなっています。
そこで、令和3年度から、まちづくり協議会の暮らしの安全と教育部会で奮起し、約30年間途絶えていた地域の伝統行事を復活させて、地域のつながりを絶やすことなく活性化していくと『どんど焼き』を行いました。

活動内容

【令和3年度】

- ◆開催日：令和4年1月16日(日) 10時〜12時
- ◆場 所：内日小学校グラウンド
- ◆内 容：どんど焼き(しめ縄・書初めの焚き上げ)
昔の遊び体験(竹馬・缶ぼっくり)
- ◆参加者：大人33名 子供21名 スタッフ18名
消防団5名 計77名

【令和4年度】

- ◆開催日：令和5年1月21日(土) 13時半〜15時
- ◆場 所：内日小学校グラウンド
- ◆内 容：どんど焼き(しめ縄・書初めの焚き上げ)
昔の遊び体験(凧あげ・こま回し・メンコ)
- ◆参加者：大人35名 子供20名 スタッフ19名
消防団6名 計80名

コマ回し体験!



手作り凧を製作中……

成果・課題・展望

令和3年度は初めての試みで、やぐらの作製方法、火の燃え具合(時間)など、手探りの状態での実施でした。
幸いにも、長府東部地区まちづくり協議会や東部5地区まちづくり協議会にノウハウを指南いただき、事故もなく無事に開催することができました。

令和4年度では、前年の経験を活かして手際よく開催! 部会員は事前準備等、苦勞も

多くありましたが、充実感のある活動となりました。

中学生をはじめ、参加者からも楽しかったと好評で、来年度以降も安全に留意しながら継続していきたいと考えています。



令和3年度やぐら点火

『懐かしの歌をうたう会』
～内日公民館3階講堂にて～

II

高齢者の健康増進事業
『懐かしの歌をうたう会』

経緯・きっかけ

高齢化が進む内日地区において、高齢者がいかに元気に明るく暮らしていけるかは地域全体で考えていかなければならない課題です。コロナ禍においては、高齢者が外出を控えたり、人と会話しる機会を失っているなど、地域の中でも孤立することが危惧されており、何とか外出して多くの人とコミュニケーションを取って歌で楽しんでもらうおつと、この事業の実施に踏み切りました。

暮らしの安全と教育部会でも、数年前から計画を進めていましたが、川棚で活動されている『なつかしの歌を歌おう4人組』の皆さんのご協力を得られることになり、開催が実現しました。

成果・課題・展望

1回目は、密になることを避けるための事前申込制にしたためか参加者が少なく残念でした。2回目は、友人を誘い合ったり、声掛けをしたりして、口コミで参加者の輪が広がりました。

さらに声掛けをしたり、告知方法を工夫したりして参加者の数を増やしていきたいと考えており、令和5年度からは、年3回の定期開催を目指しています。

活動内容

【第1回】

日時：令和4年11月24日(木)
13時～14時半

参加者：大人14名 スタッフ8名
講師4名 計26名

内容：秋をテーマに懐かしの歌をうたって脳を活性化しよう

【第2回】

日時：令和5年2月23日(祝)
13時～14時半

参加者：大人19名 子供3名 スタッフ11名 講師4名 計37名

内容：冬から春をテーマに懐かしの歌をうたって認知症を予防しよう

マスクを着用したまま歌う、席の間隔を開ける、換気を行うなど、感染症対策に気を配って開催しました！

III

鯉のぼりの
掲示

経緯・きっかけ

元来は、『内日を考える青年の会』が毎年の恒例行事として旧内日ライスセンター前広場に鯉のぼりを掲げる活動をしていましたが、会員の減少などにより、活動の継続が負担になっていくとのことで、令和4年度からまち協会の活性化・イベント部会が活動を引き継ぐことになりました。

活動内容

成果・課題・展望

【鯉のぼり立て作業】
4月17日(日) 8時～9時半
旧内日ライスセンター前広場
参加者28名

【鯉のぼり掲示期間】
4月17日(日)～5月7日(土)まで毎日

【鯉のぼり撤去作業】
5月7日(土) 8時～9時
参加者17名

「鯉のぼりを泳がせて内日を元気にしよう!」という恒例行事を令和4年度も無事継続ができました。また、新しく鯉のぼりを寄付してくださる方もいらつしやり、地域の方の理解を得ながら、活動を定着させていきたいと考えています。少子高齢化の中、今後も地域の中での活動の継続が難しい事例が増えてくるかと思いますが、各方面と連携をとり、本当に必要なとされている事業を可能な範囲で実施していきたいです。



作業後の記念撮影

川中地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒751-0864
下関市伊倉町二丁目1番1号
川中公民館内
☎/ 備：083-250-6525

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口：34,702人
世帯数：16,703世帯
中学校区：川中、垢田中学校
面積：10.96km²

■ H P : <https://www.kawamachi-dukuri.jp/>
■ MAIL : kawamachi@galaxy.ocn.ne.jp



綾羅木川堤防に咲く紫陽花

I

経緯・きっかけ

昭和59年頃の綾羅木川河川敷周辺は、古タイヤなどのごみのポイ捨て場所ようになっていました。昭和62年から綾羅木川周辺の環境整備を兼ね、コスモスを植栽し「花いっぱい運動」を推進。平成15年には全国表彰を受賞しています。平成2年10月には「コスモス祭り」も開催し、以来「川中自治連合会」から、「川中地区まちづくり協議会」へと引き継ぎ、地域の方々に永く親しみ、楽しんでいただきましたが、令和元年度の開催をもちまして「川まちコスモス祭り」の幕を閉じました。

ちよつど節目の年に幕を引くことになりましたが、「川中地区まちづくり協議会」環境整備は継続し、コスモスから紫陽花に替えて植栽を続け、将来は『紫陽花ロード』として、地域の方々の癒しの道にしたと思っています。

綾羅木川河川敷環境整備 (綾羅木川堤防南側川表法面に紫陽花を植栽)

アジサイ

活動内容

紫陽花の苗の育成と植栽(環境部会員22名)
令和2年6月〜令和5年3月 約600株を育成
○令和2年7月4日(17名) 紫陽花の苗畑の除草、耕起
○令和2年7月5日(10名) プランターに鉢上げし育てた苗を苗畑に300株移植○令和2年8月24日(5名) 苗畑除草作業○令和4年3月9日(8名) 3月13日(6名) 各150株ずつ苗畑に移植
綾羅木川南側川表法面に紫陽花植栽作業
○令和3年2月14日(15名) 植栽場所の六堀り、紫陽花151株を植栽○令和3年3月10日(4名) 苗畑に26株移植○令和3年4月23日(6名) 植栽場所の草刈り、竹杭立て作業151本設置○令和3年4月25日〜5月2日 164株を植栽○令和4年2月10日植栽場所の草刈り
○令和4年2月12日(20名) 植栽場所の六堀り、120株を植栽○令和4年2月16日(5名) 45株を植栽
伊倉赤道橋〜観月橋計480株の植栽を完了
○令和5年2月7日(10名) 植栽場所の草刈り、六堀り
○令和5年2月8日(15名) 観月橋から上流75株を植栽
植栽予定場所に合計555株の植栽を完了しました！

成果・課題・展望

綾羅木川周辺はポイ捨てごみの多い区域です。川中中学校では教育活動の一環に「地域貢献」が位置づけられ、ボランティア活動としてポイ捨てごみを拾い集める清掃活動を年3回実施しています。いずれは、小学生を含めた地域の方々にも活動が広がり、ポイ捨てごみのない『まち』になるよう、ごみ0運動を推進していきます。

また、綾羅木川河川敷環境整備事業が、秋桜の花から紫陽花の花に替わり、紫陽花ロードとして憩いの場所を提供していきます。散赤道・ジョッキングロードとしても安心して利用できるようにしていく予定です。響灘に沈みゆく夕陽の景観は、さらに癒しを提供してくれることでしょう。



環境整備

II

Candle Night 2023

下関市立考古博物館

経緯・きっかけ

2年目を迎えた「Candle Night」のイベントですが、3月11日は綾羅木郷遺跡が国の史跡指定を受けた「記念日」にあたります。平成31年3月16日に史跡指定50周年を記念として「川まち弥生まつり」を開催しましたが、その後は新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止していました。今年度も感染の終息が見えず、中止を決定するとともに、「川まち弥生まつり」としては今後も開催しないことを決定しました。

しかし、綾羅木郷遺跡及び周辺の古墳群・遺跡は川中地区の宝のひとつでもあり、何らかの形で事業を実施していくと再考している中、考古博物館より協力の要望がありました。2回目からの参加になりますが、共催という形でこのイベントを実施することになりました。

活動内容

- ◆開催日：令和5年3月11日（土）
- ◆時間：日没に来場者とキャンドル点灯後、20時終了
- ◆内容：
 - 館内エントランス及び講堂を1113個のLEDキャンドルなどで装飾（エントランスホール602個・講堂511個）
 - 館外田形広場を1064個のティーライトキャンドルなどで装飾
 - ◆スタッフ：34人（考古博物館職員11名、川中地区まちづくり協議会23名）
 - ◆来場者：782名（幼児116名、小中高生215名、大人451名）

成果・課題・展望

「川まち弥生まつり」の事業計画を変更し、新たな事業を模索している中で、の要望でした。今後は徐々にキャンドル数を増やし、若宮古墳の周囲にまで広がっていきたくと考えています。子どもたちを中心に地域住民の方々にも、参加して竹灯籠やキャンドルを作成してもらい、輪を広げることで、人口交流につながればと期待しているところです。

将来的には、このイベントを一つとしつつ、形を変えていくつかのイベントを企画し、それぞれをつなげることで、川中地区住民の交流だけでなく、多くの人たちが参加できるイベントの実施をしたいと考えています。

POINT

コロナ禍であることから、感染防止の対策に万全を期して事業を実施しました。

屋外で行う事業を優先し、屋内での事業においては参加人数を制限し、これまで継続してきた事業については極力実施することにしました。

高齢者を対象とした「オレンジカフェ」は中止し、やむを得ず「川まち弥生まつり」も中止しました。



「2023キャンドルナイト」の文字が光輝きました！

吉見地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒759-6525
下関市吉見下1533番地 吉見公民館内
☎ : 083-250-8756
☎ : 083-250-8211

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口 : 5,263人
世帯数 : 2,951世帯
中学校区 : 吉見中学校
面積 : 26.50km²

■ H P : <https://www.yoshimiweb.com>
■ MAIL : yoshimichiku-machidukuri@outlook.jp



恐竜エコアート全景

I

「恐竜エコアート」

(令和3年度 毘沙ノ鼻関連事業)

経緯・きっかけ

平成5年(1993年)に、吉母海岸で発見された恐竜の足跡化石は、中生代ジュラ紀(約1億4千万年前)の地層からの発見ということで、国内最古の足跡化石として発表されました。この貴重な地域資源を活用し、本州最西端橋から毘沙ノ鼻展望美公園までの道を「恐竜街道」として、ここ数年、多くの市民の方々に参加していただき、**壁画やパネルの設置**を行ってきています。

そういった活動の中、「恐竜街道」のスタート地点でもある本州最西端橋にある巨大なコンクリートの壁面に、高圧洗浄機を使って市内を中心にエコアート制作活動をしているアトリエミミックさんからの申し出を受け、**巨大な恐竜を描く**ことになりました。

成果・課題・展望

巨大なエコアートは、「恐竜街道」の起点としてこれ以上ないシンボルとなりました。

令和元年(2019年)に始めた恐竜にまつわるこの活動ですが、「恐竜街道」という名前にはふさわしいよう、今後もう少しずつ作品を増やしていくことを考えています。

周辺の草刈りや小休止できる環境の整備など、地元自治会の協力も頂きながら、今後も活動を継続していきたいと思っています。

エコアートでは、今回描いていただいた恐竜の右側にスペースが残されており、アトリエミミックさんと連携しながら第2弾を検討していく予定です。

活動内容



高圧洗浄機でエコアート製作中



◆実施日：令和3年11月20日、23日

壁面の汚れを洗い落とすことにより絵を描く「エコアート」を実施！ 足跡化石の主でもあ**るイグアノドン**がモチーフとして描かれました。

縦約16m、横約25mの巨大な恐竜はアトリエミミックさんにとっても最大規模の作品となりました。また、恐竜の視線の先に、秋に日本列島を南下する際に毘沙ノ鼻に立ち寄ってくれる**アサギマダラ**も描いていただきました。

II

「浴衣着付け教室・盆踊り教室」

(令和4年度教育活動事業)

経緯・きっかけ

中学校の家庭科では日本の伝統衣装として和服の文化を学びますが、気軽に接する機会はなかなかありません。そこで、和服の中で最も身近な浴衣の「着る」「たたむ」を体験してもらおうと、ボランティアの方たちの協力を得て、着付け教室を開催しました。

活動内容

【浴衣着付け教室】

令和4年7月7日開催

中学3年生を対象に、

令和元年から始まった活動です。当日は、講師の先生に浴衣の歴史について説明していただいた後生徒たちは悪戦苦闘しながらもなんとか浴衣を「着て」、しっかりと「たたむ」ことを体験しました。

【盆踊り教室】

令和4年7月6日開催

コロナの影響で、ここ

2年は夏祭りが見送られていましたが、本年はコロナ対策をしながら開催することに。そこで、着付け教室の前日には、夏祭りに向けた活動として、地域に伝わる「吉見踊り」を全校生徒が練習しました。

成果・課題・展望

中学校での吉見踊りの練習風景は動画を撮影し、後日、吉見小学校で放送しました。

練習が十分ではなかったかもしれないですが、夏祭りでは盆踊りの列に加わる小学生や浴衣姿の中学生を見ることができ、一定の成果があったと考えています。夏祭りに合わせて、今後も継続していきたいと思えます。

浴衣を「着て」、
「たたむ」…
悪戦苦闘しながら
なんとか着ることが
できました！



III

「第1回吉見温泉センター古本まつり」

(令和4年度イベント企画事業)

経緯・きっかけ

吉見温泉センターでは、この春に併設のキャンプ場を開業させた際、温泉とキャンプとともに「読書」も楽しんでもらえたらと、有志が無料の本貸し出し制度「こ縁文庫」を始めました。その活動を応援・PRする意味も込めて、「読書の秋」に開催しました。



活動内容

◆開催日時…令和4年9月23日(金)

10時～16時

◆開催場所…吉見温泉センター駐車場
県内外3つの古書店を招いての、一日限りの古本まつりを開催！

秋分の日、雨まじりの中でしたが、温泉とキャンプの利用者には予想以上に心を持ってもらえました。

成果・課題・展望

駐車場の一角が会場となることもあり、規模を大きくしていくことは難しいですが、「読書の秋」シーズンにおける「温泉×読書」、「キャンプ×読書」を提案するイベントとして、今後も続けていきたいと考えています。

菊川地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒750-0313
下関市菊川町大字田部747番地4
菊川総合支所第3庁舎内
☎/ 備 : 083-250-8401

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口 : 7,305人
世帯数 : 3,368世帯
中学校区 : 菊川中学校
面積 : 83.78km²

■ H P : <https://kikugawa-machikyo.jimdofree.com/>
■ MAIL : machi-kiku927@dune.ocn.ne.jp



地域体験教室「和太鼓」

月に1回程度、菊川中学校の「菊川で学び、活躍する日」に合わせて、**和太鼓、箏の演奏、多肉植物の寄せ植え、陶芸、健康大極拳、百人一首**やフラダンスなどの体験教室を実施しました。

一度に開催する教室は、応募状況に応じて2〜4教室です。生徒たちは、学びの機会が増え、各教室に積極的に参加してくれました。



箏教室・百人一首教室の様子



活動内容

令和2年度から、菊川中学校では「菊川で学び、活躍する日」と称して、**部活動のない日にボランティア活動やスポーツ体験活動を行うようになり**ました。

これに合わせて、生徒が学校を離れ、生徒自身の考えで参加する地域体験教室として、学校では学べない体験や地域での学びの場を設定することにしました。

地域体験教室を通じて、部活動とは異なったスポーツや文化的事象を体験することにより地域理解の一助となりました。

今後も生徒の選択の幅が更に広がるように、新たな体験教室の実施に取り組んでいきたいと考えています。

経緯・きっかけ

I 地域体験教室 (菊川で学び、活躍する日)

成果・課題・展望

～「菊川で学び、活躍する日」～

令和2年度から菊川中学校で始まったボランティア活動やスポーツ体験活動を行う日です。
令和2年度には、環境美化活動として、まちづくり協議会のメンバーと共に、町内の生活バス停のベンチの補修も行いました！

II

菊川町賑わい事業 (夏まつり花火大会ステージ、 提灯タワー)

経緯・きっかけ

コロナに負けず「絆」を大切に、町民が元気で楽しく交流して地域を活性化することを目的としてこの事業を実施することにしました。



輝く提灯タワー

成果・課題・展望

3年ぶりに開催した菊川夏まつり花火大会では、コロナ禍における規制があった中での開催でしたが、まちづくり協議会の委員が率先して運営に携わり、無事に成功で終了することができました。今後も町民との絆を大切にしていきたいと考えています。

活動内容

【菊川夏まつり花火大会】菊川地区まちづくり協議会が、主にステージを担当！ ◆開催日：令和4年7月23日(土)

◆出演者：スポーツクラブのヒップホップダンスチーム、地元音楽バンド、菊川中学校の吹奏楽部から運営を行い、会場を盛り上げました。田部高等学校の生徒が司会とステージ補助を行いました。

【提灯タワー】花火大会開催に合わせて、アブニール前のふれあい広場に点灯させました。菊川中学校美術部の生徒、檜崎小学校、岡枝小学校、豊東小学校の児童にパネル作成を依頼し、提灯の灯りに照らされたパネルが菊川町の夜に輝きました。



提灯タワーのパネル作成

まちづくり協議会を中心に、幅広い年齢層の町民がイベントを通じて交流できました！
今後の様々な活動の足がかりになったと感じました。



おれんじ文化祭



III

高齢者見守り事業 (おれんじ文化祭認知症 ミニフェスティバル) 豊東)

経緯・きっかけ

認知症に対する理解啓発を目的とし、「文化祭のように楽しめる雰囲気の中で認知症に対する理解を深めてもらいたい」との思いから、幅広い世代の住民を対象に実施しました。

活動内容

成果・課題・展望

◆開催日時：令和4年10月22日(土)10時～12時
◆場所：豊東小学校体育館
◆内容：○地域食堂ラサールの演奏 ○菊川豊田地域包括支援センターの講話 ○きくがわ苑デイサービスセンターの認知症レクリエーション体験 ○かるがも劇団の寸劇 ○アトリエねごびの臨床美術ワークショップ ○サロン遊具体験 ○認知症機器の展示
文化祭のような雰囲気で開催することによって、楽しみながら認知症を学ぶことが出来ました。今後、認知症があっても、楽しく安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えています。

豊田地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒750-0424
下関市豊田町大字矢田 149番地1
豊田生涯学習センター内
☎/ 備 : 083-766-0775

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口 : 4,618人
世帯数 : 2,289世帯
中学校区 : 豊田中学校
面積 : 163.47km²

■ H P : <http://toyota.main.jp>
■ MAIL : toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp



キラキラプロジェクト しめ縄飾り完成!

I

豊田発シモノセキ キラキラプロジェクトへの参加

経緯・きっかけ

この事業は、「豊田町の医療・福祉の担い手をどのように育てるか? 地域のみんなで考えてみませんか?」をテーマに、へき地医療で下関北部地域の地域包括ケアシステムを担う次世代の人材の確保を目的とした、豊田中央病院 山口大学国際総合科学部、山口県立総合医療センターへき地医療支援部、市社協 豊田保健センター、菊川・豊田地域包括支援センターのメンバーで構成されたプロジェクトチームです。地元代表として豊田地区まちづくり協議会へ参加要請があったことをきっかけに豊田まち協もプロジェクトに参加することになり、令和3年度より活動が始まりました。

活動内容

- ◆ コロナ禍のため、山口大学、県中央病院等遠隔地とはリモート会議が主となり、豊田中央病院を中心として、**各課題について毎月末、プロジェクト会議を実施しました。** (20数名/回参加)
- ◆ 豊田中央病院入口の空地に**ふれあい花壇**を造成し、花植を行いました。このイベントに山口農業高等学校 西市分校園芸術科の先生、生徒も参加し、病院医師、看護士、山大学生、豊田まち協のメンバーで作業し、コミュニケーションを図りながら行いました。 (15名/回参加)
- 花壇には、**花ことばが入った写真パネルも設置**して、道行く人々の目を楽しませています。
- ◆ 令和3年12月27日、28日の両日は「**とよたび**」として、豊田町で医療セミナーが開催! 医大生、看護学生、大学生の22名が参加しました。

【1日目】グループに分かれて町内4地区をまわる「とよたふれあい歩き」と、地域ケアを担う人材との交流を図る「医療系企画」を実施しました。

【2日目】地域との交流として「**ほたるかごの製作**」(15名参加)、**「しめ縄づくり**」(12名参加)を地域の方の指導のもと体験しました。



ほたるかご製作中……



花ことば入り写真パネル

成果・課題・展望

久しぶりに若い学生が一堂に会す姿に感動しました。豊田町の実態を体験を通して理解してもらい、若い医療関係者が帰って来てくれることを期待しています。

II

長門ポツポSL里帰り事業

経緯・きっかけ

前年の令和2年度に、長門鉄道開業100周年大会を行いました。京都府与謝野町のSL広場が閉園するにあたり、長門ポツポが豊田町に譲渡されることに！沿線の小月〜菊川〜豊田に關係する、東部5地区・菊川・豊田地区まちづくり協議会の共同で、「長門ポツポを守る会」を立ち上げて、道の駅「常街道西ノ市」に設置することになりました。

活動内容

- ◆令和3年4月：SL運搬・設置に伴う、基礎・上棟・運搬・搬入計画検討
 - ◆令和3年7月：基礎工事着手
 - ◆令和3年9月：SL運搬・据付
 - ◆令和3年11月：完成式典（50名参加）、一般開放
- 以上のスケジュールで、長門鉄道の歴史を振り返り、先人の業績を確認することができました。

成果・課題・展望



長門ポツポ竣工式

旧長門鉄道沿線の小月〜菊川〜豊田にある、3まちづくり協議会（東部5地区・菊川・豊田）の共同事業として活動してきて、地域の歴史を確認でき、コミュニケーションを図ることができたことが良かったと思います。これを今後どのように繋いでいくか努力していく必要があると感じています。

III

第1回まち中花いっぱいフォトコンテスト

経緯・きっかけ

まちづくりの柱として、設立（平成28年）以来「まち中花いっぱい運動」に取組んできました。役員会の中で、この取組みをより多くの町民の皆さんに知って・参加してもらうために、フォトコンテストを開催してはどうかという声があり、この活動を実施しました。

活動内容

◆応募期間：令和4年10月下旬〜12月13日

応募作品を道の駅に掲示して、来場者の方に投票してもらい、得票数の順に最優秀賞、優秀賞、特別賞を決定しました。

令和5年1月21日（土）に道の駅で表彰式を行い、その様子は「COMでも放映されました。

成果・課題・展望

今回は応募期間が花の少ない時期ということもあり、応募点数が少なかったです。しかし、「まち中花いっぱい運動」に対する意識付けには効果があったと感じています。令和5年度は花の多い春から夏にかけて継続して実施し、豊田地区のまち中花いっぱいになることを期待しています。



受賞者へのインタビュー

POINT

より多くの人が活動へ参加するために、案内を回覧してLINE配布し活用しています。

豊浦地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒759-6301
下関市豊浦町大字川棚
7112番地4
☎/ 備：083-227-2744

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人 口：15,914人
世 帯 数：7,901世帯
中学校区：夢が丘、豊洋中学校
面 積：75.86km²

■ H P : <https://toyouramatidukuri.wixsite.com/kyougikai>
■ MAIL : toyoura-machidukuri@chic.ocn.ne.jp



第1回とよステ キッズダンス

I

とよステ

(とようらみんなのステージ)

経緯・きっかけ

令和2年度に開催した「豊浦ものづくり作家展」の芸能活動バージョンとして開催！ 豊浦町内で文化活動をしておられる方が日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、町民と一緒に楽しめる機会を作りたいと考えてこのイベントを企画しました。

活動内容

◆開催日：令和5年2月26日(日)

◆場 所：川棚公民館 講堂

◆参加者：豊浦町に関わる6団体
2個人(計115名)

◆内 容：吹奏楽、キッズダンス、大正琴演奏、マジック、エレク トーン演奏、太鼓、フラダンスと多様なパフォーマンスが披露されました。200名を超える入場者があり、特に子どもさんが出演される演目は立ち見もでるほどでした。



青龍太鼓のパフォーマンス

成果・課題・展望

各公民館の文化祭などが新型コロナウイルス感染症で中止となる中、発表の場を求めておられた方には絶好の機会となり、「また参加したい」との感想をいただきました。今回はコロナ禍で練習ができなかったこともあり、参加を見合わせた団体も多かったですが、今回はより多くご参加いただけると思っています。

また、地域をまたいでの開催となり、子どもの演目も多かったため、より多くの方に見ていただけ、日頃は接することのない演目に触れることができたことも、参加者にとっては刺激になりました。

初めての開催ということで、募集期間や具体的な進め方が分からず、チラシやポスターの作成が遅くなってしまったことや、町内に十分に催しを周知できなかったことなど、参加者募集や集客などにまだまだ改善すべき点がありますが、回数を重ねることにより、口コミなどで認知度も高まっていくと感じています。

今後も、町民全体で盛り上げられる催しを企画していきたいと思えます。

II

行政との懇談会・要望書の提出

経緯・きっかけ

令和4年4月に、豊田町、豊北町に続いて豊浦町が「過疎地域」に指定されました。市は過疎地域脱却のために「過疎地域持続的発展計画（第1次変更）」（案）を作成・公表し、9月議会にて、受けた意見をもとに修正した案の承認を経て、現在、10年間を見据えた過疎地域の持続的発展計画としてスタートしています。

豊浦地区まちづくり協議会は、まちづくり協議会としてできることを考え、この計画が有効なものになるよう市に提案していきたいとの思いで、行政との懇談会や要望書の提出などを全体での取り組みとして実施しました。



地域活性化部会報



行政との意見交換会

活動内容

令和4年5月の地域活性化部会報で過疎地指定について特集を組み、問題点や解決のための施策などを町民に伝えるとともに、6月25日には過疎対策計画についての説明会を開催しました。説明後に行った質疑では、計画の詳細や実効性などに對し、鋭い質問が多く出ました。

◆説明参加者…

○町内の各自治会、農業、水産業、商工会、親睦協会などに参加を呼び掛け、26名が参加。
○市の企画課より3名、豊浦総合支所より12名が参加
また、パブリックコメントを受けて作成された「過疎地域持続的発展計画（第1次変更）」

（案）に對し、計画が「過疎」の現状を改善するために有効なものになるよう、行政に協力し、連携するため、11月に市長宛ての「要望書」を提出し、回答をもって令和5年1月18日、19日に市と「意見交換会」を実施しました。これを受けて、さらに留意してほしい7つの事柄を再度「要望書」として市に提出しました。

成果・課題・展望

説明会を実施したことで、地域の多くの方に市の作成した計画を知っていただくことができ、より幅広い意見を寄せることができたと思います。これを受けて実施されたパブリックコメントでは、通常に比べて非常に多くの意見が寄せられました。

有用であると思われる多くの意見が取り入れられていないことは残念でしたが、さらに市との意見交換会をもつことにより、町民の意見を直接伝えることができたのは、意義があったと感じています。

POINT

まちづくり協議会が単なる行政の下請け団体や、イベント遂行のための団体に終わることなく、市政に地域住民の切実な声を届けるという役割を果たせるよう、今後も折に触れ行政への働き掛けをしていきます。

豊北地区

まちづくり協議会

■ 事務所
〒759-5331
下関市豊北町大字神田1199番地1
豊北生涯学習センター内
☎/ 備 : 083-786-0010

■ 地域の状況 (R4.10.1現在)
人口 : 7,831人
世帯数 : 4,137世帯
中学校区 : 豊北中学校
面積 : 168.64km²

■ H P : <https://machikousaku.wixsite.com/mysite>
■ MAIL : machikousaku@gmail.com



専修寺マルシェ 手作りの風鈴で作ったアーチ

I

成人式プロジェクト

経緯・きっかけ

令和3年度にコロナの影響で成人式を開催できなかった当時の成人に、成人式をしてあげたいという地域の声を聞いたことをきっかけに、「成人式プロジェクト」を実施することになりました。

活動内容

◆実施日：令和5年1月3日(火)

◆会場：豊北中学校 体育館

◆参加者：成人対象者38名

◆内容：地域全体でお祝いし、同級生とのひと時の時間を持てるよう企画されたものです。式典だけでなく、記念撮影タイムカップセルの開封や餅まきも実施しました。

実施にあたり、会場・景品・記念宮中などの交渉や、参加者・来賓の案内、マスコミへの呼び掛けを行いました。



成人式後の餅まき



新成人と来賓の方々

成果・課題・展望

対象の成人はもちろん、保護者や当時の先生も出席していただき、大変喜んでいただきました。会場を地元中学校にしたことにより、学校とまちづくり協議会との関係も深めることができました。

また、まち協のスタッフだけではなく、当日の対象者もスタッフに加えることで、思い出づくりや達成感、今後自分たちでもこのようなことができるという可能性を広げることができました。

より多くの方に活動に参加いただくとともに、まちづくり協議会の活動や豊北町をより広く伝えるためにも、イベントの周知方法やマスコミへの取材依頼など、もっと効果的にしていきたいと考えています。

II

専修寺マルシェ

経緯・きっかけ

地元下関北高校とまちづくり協議会がコラボして作成した、**移動式シャッターアート**を地元のお寺に設置していただいたのがきっかけで、お寺にてマルシェを開催したいとの声を聞き、まちづくり協議会とお寺と自治会が一緒になってマルシェを開催することになりました。

活動内容

◆実施日：令和4年10月29日（土）

◆会場：専修寺

◆内容：出店者の呼び掛けやチラシの作成



専修寺の境内

当日のタイムスケジュール、役割分担を考へ、当日の駐車場誘導を行いました。食べ物ブース・野菜販売・風鈴作り・遊び場・キッチンカーなどが集まりました。



専修寺マルシェのメイン会場

成果・課題・展望

コロナ禍で地域の行事や集まる機会がなかったので、地域のみなさんにとっても喜んでいただけました。今後は、お寺と自治会が主体となって取り組んでいくことになりました。

III

豊北中学校 駐車場白線再生

経緯・きっかけ

地元の図書館も併設されている豊北中学校の駐車場の白線が、劣化によりまったく見えず、きちんと駐車されていない状況で危険であるとの声を聞き、**保護者や地元有志で駐車場の白線の再生を実施**することになりました。

活動内容

◆実施日：令和5年1月28日（土）

◆場所：豊北中学校駐車場

◆参加者：20名

◆内容：事故を防ぐためにも、経年劣化により消えている駐車場の白線を、保護者や地元有志で再生しました。

成果・課題・展望

市や行政では難しい地域の問題を解決できて大変喜ばれました。議員が日頃から地域との関わりを持ち、いろいろな場面で地域の声を聞くことにより、問題の発見につながったと感じています。



白線が再生された駐車場



再生された障害者用駐車場

今後も、このような活動や積極的な取り組み、地域の課題解決を行ってまいります。

《下関市まちづくり協議会活動事例集 令和3～4年度》

令和5年11月発行

下関市市民部まちづくり政策課

〒750-8521 下関市南部町1番1号

TEL.083-231-1261 FAX.083-231-1809

E-mail: skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

下関市のホームページ

<https://www.city.shimonoseki.lg.jp>